

全買連ニュースレター 第5号

ZENBAIREN News Letter

2017/9/6

全国の活動より

—東京発—

2つの記念市開催

東京都木材市場買方組合に所属する買方組合の市場、買方東京中央木材市場と東京中央木材市場の両市場で記念市が開催されました。

中央市場は、7月8日（土）「浦安開設32周年記念市」、東木市場は7月6日（木）「都買連創立42周年記念市」です。



東京中央市場「浦安32周年記念市」



東京木材市場「都買連創立42周年記念市」

—京都発—

京都木材会館が農林水産大臣賞

京都木材協同組合が事務所を構える「京都木材会館」が平成29年度木材利用優良施設受賞施設の農林水産大臣賞を受賞し7月31日表彰されました。

この建物は、全国で初めて2時間の耐火性能を持つ柱を使った木造4階建てのビルで、建物の内外装に京都産の木材を100%採用し、設計・施工も全て地元業者は手がけたものです。

スギの無垢板を相次ぎにして組み上げた外装ルーパーは、室内に木漏れ日のような柔らかい光を届けつつ、季節や天候によって角度を変えることにより風や光を緩やかにコントロールする設計になっています。

1階には、「まちなかの森」をイメージしたギャラリー、2階に上がる階段の段板は全て違う樹種の一枚板にするなど来訪者に木を楽しんでもらうことも出来ます。2階部分は事務所、3、4階は賃貸の共同住宅として利用されて建設中から問合せ・申込みが殺到して、完成後すぐに満室になったそうです。



京都木材会館の外観(表彰式資料より)

施主 京都木材協同組合
設計者 (株) ゆう建築設計事務所
施工者 吉村建設工業

全買連の動き

(1)今年最初の JAS 製材品普及推進展示会開催 東京木材市場

第45回 JAS 製材品普及推進展示会は、全国5会場で開催されますが、その皮切りが8月2日審査会、3日展示市が東京木材市場で開催されました。

今回は、5社から75m³の出品があり、厳正な審査が行われました。

審査に先立ち式典で主催団体を代表して早川全買連会長が挨拶されました。

JAS 製材品は、品質・性能が保証されたものでありまして、建築・設計等の需用者ニーズに対応した信頼される製材品です。展示会は、JAS 製材品の流通の拡大と需用者・消費者への普及を図ることにより、品質の改善、生産技術の向上・合理化等を進めることを目的として開催しております。



このあと、

- 9月6(水)、7日(木) 津山総合木材市場
- 9月21日(木)、22日(金) 東海木材相互市場
- 10月11日(水)、12日(木) 丸宇木材市売り北浜市場
- 11月27日(月)、28日(火) 伊万里木材市場

で、開催されます。全買連担当役員の方よろしく申し上げます。

(2) 林野庁木材産業課との意見交換

7月14日、林野庁木材産業課 牛尾流通班担当課長補佐ほか2名の方の全買連事務局訪問を受けました。これは、木材産業課が業務の参考にしようと出向く出前意見交換会として行われました。

この日は、東京木材市場を視察の後、全買連業務の現状や木材流通の課題などについて約2時間の意見交換を行いました。

(3) 事務局長会議の開催予定

全買連事務局では10月6日(金)に全国事務局長会議を開催します。当日は、クリーンウッド法セミナーを受け、その後事務局長会議を開催します。主な議題は、全買連の今後のあり方検討、木材利用推進、各地の状況報告について意見交換を行います。

次の日、7日は休日ですが東京都の木材関係団体(都買連が参加)が開催する木材利用「木と暮らしのふれあい展」を視察してもらいます。

木材関係団体の今後の日程

第52回全国木材産業振興大会

期日：平成29年11月9日(木)

場所：奈良県奈良市 100年会館

木材利用の話題

このたび、箱根のあるホテルを利用しました。木材関係者にとって箱根は現在で言えば集成材である「寄木細工」の本家本元。そのホテルも寄せ木をイメージしたデザイナーズホテルで内装にはふんだんに木材が使われていてなかなか良い雰囲気でした。その1つが写真の食事処の様子です。



編集後記 ー立っている樹のはなしー

異常な暑さに悩まされた今年の夏、線状降水帯による九州北部等の災害、関東東北では日照時間が記録的な短さとなるなど日照不足で農作物の不作により価格が高騰し、余りいい夏ではなかったイメージがあります。

ここに来て、暑さは和らぎ過ぎやすくなりましたがこの影響なのか先日訪れた奥山のナラ、ブナなどの山の木の実は不作のようでした。

それでも全買連事務局のそばにある公園の「マテバシイ」の実はそろそろ色づいてきていますが例年より少し早いように思えるのはやはり今年の夏の影響でしょうか。

「マテバシイ」見た目はカシに似ていますがブナ科、マテバシイ属ですのでシイノキの近隣種です。馬刀貝に似た葉を持っているのでこの名前が付いたようです。シイに近い証拠に花がクリやシイノキのような香りを出して虫を寄せ付ける虫媒花ですから風だよりの風媒花のカシより進化した繁殖技術を持っています。私は、今はシイではないけど「待てばシイになるマテバシイ」と言っています。大きなドングリをまとめて着けて9月中頃には熟します。タンニンが少なく食べられると聞いたので食べてみました。食べられないことはないけどコジイやスタジイほど美味しくありません。少し置いたらシイのように美味しくなると言われているのでこの点でも「待てばシイ」なのか？ でも、落下したドングリは発酵していて変な味になるので木に成っているうちに食べた方が良さそうです。そういえば何処かでマテバシイの焼酎が造られているようです。

風や火に強く剪定に強いので公園や街路樹に良く植えられています。



6月頃の今年の花と昨年結実した実



7月頃、昨年の実が大きくなる



9月、昨年の実が成熟、今年の実と同居